

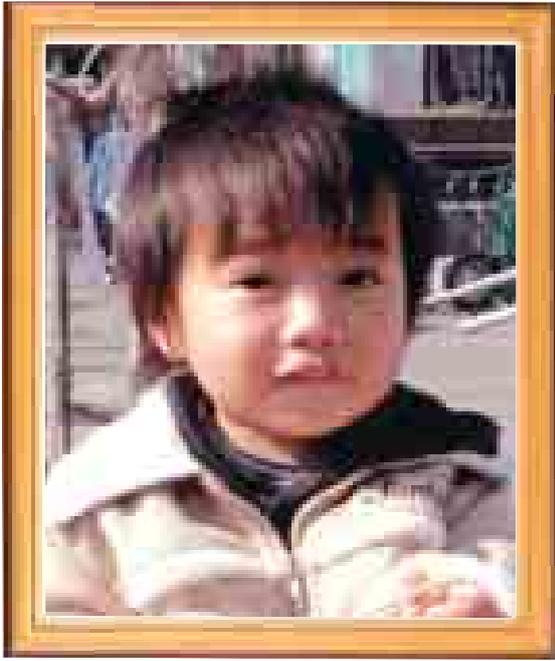


わが家のアイドル

須崎にお住まいの

土屋 臣嘉さん・ゆみさんの

はる た
次男 陽太ちゃん(2歳2か月)



只今、海老網 修業中！！

おじいちゃんと一緒に浜に行くのが大好き！
だって だって 近所の人が み～んなが
声掛けてくれるから！いつもありがとう～！

みなさんのお宅のアイドル写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せ下さい。

下田市内の指定文化財

その57

下田市指定文化財

古文書

所在地 下田市内社寺

指定日 昭和60年12月23日

古文書とは、昔の人が書いた手紙や書付のことで、文字文化が庶民にまで広がった江戸時代の古文書は各所に残っています。それ以前のもは数少なく、市内社寺に伝わる戦国時代の古文書6点は、重要な歴史資料として市の文化財に指定されています。

横川太梅寺の古文書



安国寺恵瓊奉制札(太梅寺蔵)

寺の領地を安堵(保障)した書状2点と、横川の領主吉田氏が寺に土地を寄附したことを証す寄進状1点が伝わっています。特に豊臣秀吉が小

本覚寺の古文書



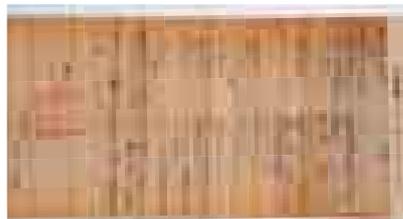
北条家寺中安堵朱印状(本覚寺蔵)

田原の後北条氏を攻めた天正18年(1590)4月に、豊臣方の武将安国寺恵瓊が下した制札(豊臣軍の狼藉を禁じた書状)は、下田城攻防戦の最中に書かれており、豊臣方が陸海の双方から下田城を攻め、落城前に横川が豊臣支配下にあったことを示す重要な証拠となっています。

後北条氏の書状2点が伝わっています。いずれも北条家発行の証である虎の朱印が押されており、北条家の右筆・評定衆であった板部岡江雪が差出人です。内容は本覚寺の寺領を安堵するもので、天正14年(1586)9月の朱印状には、本覚寺主が京都へ行

くにあたって、下田城將清水康英に留守を守るよう命じたことが書かれています。

白浜神社の古文書



佐野北条氏忠朱印状(白浜神社蔵)

天正11年(1583)に佐野(北条)氏忠が、白浜郷の名主や百姓に下した年貢の割付状(領主から支配下の農民にその年の年貢を割り当てた書状)で、戦国時代の年貢の実態を知る上で貴重な古文書となっています。

それぞれの所蔵者によって大切に受け継がれたこれらの古文書は、400年以上を経たなお、当時の世相や、人の手のぬくもり、息遣いを今に伝えて続けており、まさに郷土の宝ということが出来ます。

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 25055

